

## 平成 29 年度大北地域森林づくり県民税活用事業の実績

### 求められる機能に応じた 里山等の森林づくりの推進

#### 1 地域で進める里山集約化事業及びみんなで支える里山整備事業

大町市八坂石原団地は、石原集落(6戸)の南側に位置し、スギを主体とした人工林及び天然の広葉樹林から構成される里山で森林所有者数は8名です。所有区分が細かく、これまで十分な整備が行われてきませんでした。平成 29 年度「地域で進める里山集約化事業」で事業地をとりまとめ、「みんなで支える里山整備事業」により間伐を実施しました。

##### (1) 地域で進める里山集約化事業

小規模・分散化した林地の森林所有者を対象に、一体的な団地として森林整備を進めるための承諾を得る活動経費について支援しました。

平成 29 年度実績 (単位:ha 円)

市町村	事業主体	集約化面積	交付金額	備 考
大町市	(企)山仕事創造舎	19.4※	291,000	補助率：定額 (15,000 円/ha)
計		19.4	291,000	

##### (2) みんなで支える里山整備事業

集落周辺の里山の機能回復を進めるための間伐を実施するとともに、林縁部の墓地や道路に近接する立木を安全に伐採するために特殊伐採について支援しました。

平成 29 年度実績 (単位: ha 円)

市町村	事業主体	間伐面積	事業費	補助金額	備 考
大町市	(企)山仕事創造舎	15.14※	4,483,000	4,034,700	その他、付帯事業として道路沿いの立木について、特殊伐採等 15 本を実施
計		15.14	4,483,000	4,034,700	

#### 大町市八坂石原団地



道路から見る間伐実施地



特殊伐採 (牽引機を使用した伐採)

## 2 森林づくり推進支援金

地域固有の課題に対応して、市町村が行う森林整備の推進や間伐材の利用促進等の取り組みを支援しました。

平成 29 年度実績

(単位:円)

事業区分	市町村数	支援金額	備考
みんなの暮らしを守る森林づくり	3 (大町市・池田町・松川村)	1,298,400	補助率 : 10/10 以内
木を活かした力強い産業づくり	2 (大町市・池田町)	1,100,000	
森林を支える豊かな地域づくり	4 (池田町・松川村・ 白馬村・小谷村)	2,879,600	
計	5	5,278,000	

### ○取組区分別の実績及び支援金額

(単位:円)

取組区分	市町村	実績	事業費	支援金額
みんなの暮らしを守る森林づくり	大町市	社寺や個人住宅地の国庫補助事業の対象とならない松くい虫被害木の伐倒駆除 事業量 6 本	577,692	560,000
	池田町	神社、墓地、庭木等の松を松くい虫被害から守るための伐倒駆除や、所有者等が行う予防対策に必要な薬剤購入費への助成 44 件 補助率 1 / 2  樹幹注入の実施例	4,285,962	328,000
	松川村	アカマツの枯損木を早期発見するための松林監視員の設置 1 名	410,400	410,400
	3 市町村	小 計	5,274,054	1,298,400
木を活かした力強い産業づくり	大町市	県産材を使用した木のおもちゃ(積木)を、1歳6ヶ月検診を受ける幼児にプレゼント 200 人	928,000	900,000
	池田町	町産の間伐材を使った遊具等を卒業記念品を卒園する親子が製作し、保育園に設置 池田保育園:木製パネル、砂場木製枠 会染保育園:木製はしご	400,000	200,000
	2 市町	小 計	1,328,000	1,100,000
森林を支える豊かな地域づくり	池田町	緩衝帯整備 鷺山地区 0.46ha	1,643,760	448,000
	松川村	松川村山の日植樹祭実施地の地拵え 馬羅尾高原 0.45ha	362,000	170,600
	白馬村	緩衝帯整備 沢度地区 0.50ha、塩島地区 2.68ha	1,222,421	1,219,000
	小谷村	緩衝帯整備 拇池地区 4.00ha、コルナ地区 4.30ha	1,162,000	1,042,000
	4 町村	小 計	4,390,181	2,879,600
計			10,992,235	5,278,000



大町市の木のおもちゃ(積み木セット)  
(撮影:H30. 2. 1)



白馬村塩島地区の緩衝帯整備(整備後)  
(撮影:H30. 2. 22)

【再掲】市町村毎の平成 29 年度実績

(単位:円)

市町村	取組区分	実績	支援金額
大町市	みんなの暮らしを守る森林づくり	国庫補助事業の対象とならない松くい虫被害木の伐倒駆除	560,000
	木を活かした力強い産業づくり	県産材を使用した木のおもちゃのプレゼント	900,000
	計		1,460,000
池田町	みんなの暮らしを守る森林づくり	松くい虫被害木処理や予防対策の薬剤購入費補助	328,000
	木を活かした力強い産業づくり	間伐材を使った遊具等の町内保育園への設置	200,000
	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備	448,000
	計		976,000
松川村	みんなの暮らしを守る森林づくり	アカマツ枯損木を早期発見するための松林監視員の設置	410,400
	森林を支える豊かな地域づくり	松川村山の日植樹祭実施地地拵え	170,600
	計		581,000
白馬村	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備	1,219,000
			1,219,000
小谷村	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備	1,042,000
	計		1,042,000
計 5市町村			5,278,000

3 水源林公有林化支援事業

市町村が森林内の水源地及び水源林の公的管理を図るうえで、土地等の取得が必要となった場合の経費を支援

(単位:円)

市町村	事業内容	事業費	補助額	備考
	H29年度 要望・実績なし			
計				

## 平成25～29年度の主な森林税活用事業の目標と実績

事業名	指標	単位	項目	H25	H26	H27	H28	H29	計
地域で進める 里山集約化事業	集約化 面積	ha	県目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
			県実績	1,960	2,048	598	458	415	5,479
			北アルプス管内実績	128	0	0	0	19	147
みんなで支える 里山整備事業	間伐面積	ha	県目標値	3,000	3,000	3,000	2,500	2,300	13,800
			県実績	3,282	2,113	1,853	1,319	1,782	10,349
			北アルプス管内実績	179	0	10	0	15	204
森林づくり 推進支援金	-	千円	県予算	130,000	130,000	130,000	130,000	130,000	650,000
			北アルプス管内実績	8,091	6,738	5,891	6,130	5,278	32,128

### 間伐材等の利活用による継続的な森林づくりの推進

#### 1 みんなで支える里山整備事業（間伐材搬出支援）

みんなで支える里山整備事業で実施した間伐材を山土場まで搬出・集積する作業を支援する。（補助率：定額（3,500円/m<sup>3</sup>））（単位：m<sup>3</sup> 円）

市町村	搬出材積	事業費	補助金額	備考
		H29年度要望・実績なし		
計				

#### 2 信州の木活用モデル地域支援事業

里山の森林資源を、供給から消費まで地域が一体となって様々な用途に利活用する先進的な取組みを支援する。（単位：円）

事業主体	取組内容	補助金額	備考
大北森林組合	新たに製品化された「液体ガラス」を塗布した木製品の普及や利用促進	0※	
計		0	

※事業主体から提出のあった実施計画書を本庁で審査した結果、地域との連携及び継続性、発展性について具体的取組の点で十分な評価が得られず不採択となりました。

#### 3 信州フォレストコンダクター活動支援事業

「信州フォレストコンダクター※」が、地域の林業・木材産業関係者と連携して行う課題解決、木材の需給調整・利用拡大等の取組みを支援する。

（単位：円）

信州フォレストコンダクター名	活動内容	補助金額	備考
	H29年度要望・実績なし		
計			

※長野県が平成25年度から平成27年度の3年間で、里山を活用した地域づくりから森林管理、木材の出荷・利用にわたり、経営感覚を持ちながら総合的な視野で指揮することができる人材を育成したもの（県下で30名・北アルプス管内では2名が登録）

## 里山と人との絆づくりを進める取組の促進

### 1 木育推進事業

県産材等を利用して子供達等が学びながら行う「木育」活動を推進する。(単位:円)

事業主体	事業内容	事業費	補助金
計	H29 年度要望・実績なし		

### 2 里山活用推進リーダー育成事業

林業研究グループ等が、地域に働きかけ、里山の利活用に意欲のある森林所有者を対象に、技術指導や安全教育等を実施し、里山の活用を推進するリーダーを育成しました。

平成 29 年度実績 (単位:円)

事業主体	事業内容	事業費	補助金
大北林業研究グループ	大町市北山地区において、里山の利活用に意欲のある森林所有者を対象に、森林資源の調査・解析や木材の有効活用に関する講習会を開催。	258,597	257,000
計		258,597	257,000

講習会	講習会の内容
<p>1 里山林の評価・管理講習</p> <p>○ 講師 (有) ウッズ 代表 能口 秀一さん 准木材コーディネーター 中島 彩さん</p> <p>○ 開催日 平成 29 年 11 月 12 日</p> <p>○ 参加者 18 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 間伐や枝打ちを実施し適切に管理された人工林において、参加者各々が目視で立木評価(市場価格としていくらになるかを試算)した。</li> <li>・ 試験木として標準的な立木 1 本を伐採し、切り口から見える品質(枝打ち状況等)について調査。曲り具合と太さから、用途に合わせた適切な造材について講習</li> <li>・ 試験木を輪切りにし、製品木取りの検討、価値を評価。適切な間伐を実施した場合の 10 年後の成長量を予測する手法を習得</li> </ul>
<p>2 木材の有効活用講習</p> <p>○ 講師 (有) ウッズ 代表 能口 秀一さん 准木材コーディネーター 中島 彩さん</p> <p>○ 開催日 平成 29 年 11 月 13 日</p> <p>○ 参加者 18 名</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前日採取したサンプルを用いた講義により、同じ木でも製材方法により品質や価値が変わることを習得</li> <li>・ 実際に試験木を製材し、木取り方法により歩留りや製品の価値に違いが出ることを習得</li> <li>・ 製材された板を品質や規格ごとに仕分けることを体験しながら、製品の価値を見出し、山の価値を知ることを習得</li> </ul>